



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (非連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 伊藤 公哉

TEL 03-6262-8400

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	702	19.4	257	130.8	261	144.5	179	134.2
2026年3月期第1四半期	588	10.2	111	21.0	106	△5.8	76	△6.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	46.51	—
2026年3月期第1四半期	19.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,448	3,637	81.8
2026年3月期	4,326	3,612	83.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,637百万円 2026年3月期 3,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の業績予想 (2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	7.8	290	11.3	300	19.4	210	22.0	54.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	3,909,800 株	2026年3月期	3,909,800 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	60,472 株	2026年3月期	60,472 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	3,849,328 株	2026年3月期1Q	3,849,328 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におきまして、当社の主要顧客である半導体を含む電子部品業界では、前年度に引き続きAI関連分野は堅調に推移したものの、スマートフォン、パソコン、産業機械向けの半導体デバイスについては低迷が続き、二極化の様相を呈しております。また、中東情勢はやや落ち着きを見せているものの、我が国における原油供給への影響や、依然として高い水準で推移する物価高の状況によっては、今後、不透明感や景気減速感が顕在化する可能性があり、日本経済および世界経済の下押し要因となることが懸念されます。

このような状況の中、当社は産官学との協力を強化し、アナログ半導体向けにAIを用いた設計の自動化に取り組み、設計環境の効率化を追求しております。2026年4月には、日本OSAT連合会（OSAT：Outsourced Semiconductor Assembly and Test）に賛助会員として入会し、当社がこれまで培ってまいりましたEDAの技術やノウハウを活かし、業界の発展に貢献する活動を進めております。

また、6月には主力製品である「SX-Meister V21.0」をリリースし、各製品の機能拡張・機能強化および利便性の向上等を図りました。国内の販売促進活動においては、2026年4月に開催された「Photomask Japan 2026」に当社主力製品や代理販売製品を出展し、多くの来場顧客に製品を紹介した結果、商談案件の創出につながっております。デバイス設計受託サービスにおいては、顧客深耕開拓により、順調に業績に貢献しました。

これらの活動の結果、売上高は7億2百万円（前年同四半期比19.4%増）となり、大きく増収となりました。これは、5月に自社製品の大型案件を受注・売上したことが寄与しています。営業利益は、その自社製品の大型案件が高粗利だったことで大きく伸長し、2億57百万円（前年同四半期比130.8%増）となりました。経常利益は、為替差益等により、2億61百万円（前年同四半期比144.5%増）となり、四半期純利益は1億79百万円（前年同四半期比134.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して1億21百万円（2.8%）増加し44億48百万円となりました。内訳として流動資産は1億39百万円（4.4%）増加し33億32百万円、固定資産は18百万円（1.6%）減少し11億15百万円となりました。

流動資産が増加した主な要因は、電子記録債権が66百万円（51.7%）減少し61百万円となった一方で、現金及び預金が98百万円（3.6%）増加し28億42百万円となったこと及び、受取手形及び売掛金が94百万円（36.2%）増加し3億54百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、繰延税金資産が18百万円（39.3%）減少し29百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して96百万円（13.5%）増加し8億11百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して96百万円（13.6%）増加し8億7百万円、固定負債は前事業年度末と同額の3百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、賞与引当金が50百万円（51.2%）減少し48百万円となった一方で、前受金が59百万円（15.2%）増加し4億53百万円となったことによるものであります。固定負債の内訳は資産除去債務であります。

純資産は、前事業年度末と比較して25百万円（0.7%）増加し36億37百万円となりました。純資産が増加した要因は、利益剰余金の増加25百万円（1.3%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の83.5%から81.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表しました2027年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知お願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,744,320	2,842,375
受取手形及び売掛金	260,176	354,359
電子記録債権	128,327	61,978
仕掛品	95	3,509
原材料	183	178
その他	59,564	70,206
流動資産合計	3,192,667	3,332,607
固定資産		
有形固定資産	16,144	17,867
無形固定資産	8,694	7,318
投資その他の資産		
投資有価証券	113,204	114,910
繰延税金資産	48,159	29,239
長期預金	900,000	900,000
その他	48,011	46,567
投資その他の資産合計	1,109,375	1,090,717
固定資産合計	1,134,214	1,115,903
資産合計	4,326,881	4,448,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,343	70,351
未払法人税等	61,649	70,651
賞与引当金	99,400	48,459
前受金	393,709	453,523
その他	79,678	164,373
流動負債合計	710,781	807,357
固定負債		
資産除去債務	3,700	3,700
固定負債合計	3,700	3,700
負債合計	714,481	811,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,524	762,524
資本剰余金	893,443	893,443
利益剰余金	1,985,072	2,010,125
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,612,400	3,637,453
純資産合計	3,612,400	3,637,453
負債純資産合計	4,326,881	4,448,511

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	588,384	702,554
売上原価	195,534	178,395
売上総利益	392,849	524,158
販売費及び一般管理費	281,236	266,554
営業利益	111,612	257,603
営業外収益		
受取利息	1,997	2,019
為替差益	—	1,575
営業外収益合計	1,997	3,594
営業外費用		
為替差損	4,923	—
投資事業組合運用損	72	75
その他	1,832	—
営業外費用合計	6,827	75
経常利益	106,782	261,122
税引前四半期純利益	106,782	261,122
法人税、住民税及び事業税	14,980	63,176
法人税等調整額	15,351	18,920
法人税等合計	30,332	82,096
四半期純利益	76,449	179,025

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	5,853千円	4,587千円